

令和4年度 学校関係者評価

| | | | | |
|--|----------|--|-----|-------|
| 1 本年度の重点目標 (1) 保護者や地域の信頼の上に立った教育の推進 (2) 学習者主体の学びと、安心・安全な環境づくり (3) 教職員一人ひとりが力を発揮できる環境づくり | 学校名 | 北海道室蘭工業高等学校 | 組織名 | 学校評議員 |
| | 重点目標の適切さ | 本校の伝統、校風を大切にしながら、生徒や家庭、地域の実態に合わせ重点目標を設定しているため適切と考える。 | | 学校評議員 |

| | |
|-------------|-------------|
| 学校関係者評価基準 | |
| A=5:十分 | B=4:概ね十分 |
| C=2:やや不十分 | D=1:改善が必要 |
| 集計後の評価 | |
| A:4.01以上 | B:3.01~4.00 |
| C:2.01~3.00 | D:1.00~2.00 |

2 自己評価結果

| 大項目 | 中項目 | 評価項目・指標等 小項目 | 自己評価 | 改善の方策 | 自己評価の結果の内容の適切さ | 今後の改善の方策の適切さ |
|----------|--|---|---|---|----------------|--------------|
| 学校経営全般 | 学校運営 | 学校運営は、全教職員間の協働意識を大切にものにふさわしいと感じる度合い。 | B | <ul style="list-style-type: none"> ・学校評価の活用の推進 ・管理職面談やアンケートを通して協働できる組織文化を醸成する。 ・職員評価制度の活用の推進 ・職員研修の活用の推進 ・校務内規の見直し | A | A |
| | | 校内研修は、今の学校課題を踏まえたものにふさわしいと感じる度合い。 | B | | | |
| | | 職員会議は、運営方針の周知や職員相互の理解、事務連絡を図るものとして機能していると感じる度合い。 | A | | | |
| | | 全教職員の共通理解による指導の一貫性が図られた学校運営がなされていると感じる度合い。 | B | | | |
| | 評価者の意見等 | <p>・“十分”又は“概ね十分”であり、自己評価に問題はなく、適切と言える。改善方法についても十分適切である。</p> <p>・学校評価アンケート(分析結果)の実施により問題点を洗い出し、最たる事項に重点を置いて取り組む姿勢を評価したいと思います。</p> <p>・魅力ある学校づくりをしていると感じているが、要望があるとすれば、中卒者が本校を受検したい気持ちになる学校づくりをしていただきたい。</p> <p>・小項目の評価について統計的な指標を用いた分析により、現在の課題を明確に示し、早急的な改善策と今後想定される課題も含めた長期的な改善に是非取り組んで頂きたい。</p> | | | | |
| 関係機関との連携 | 保護者との連絡が取りやすくなるような教職員間の相互連携がなされていると感じる度合い。 | B | <ul style="list-style-type: none"> ・PTA活動の活性化 ・家庭・地域、関係機関との連携の質の改善 ・HP等情報発信の工夫改善 | A | A | |
| | 地域と連携した多様な教育活動の推進が図られていると感じる度合い。 | B | | | | |
| | 学校の教育活動について、学校Webページを活用した適時の情報発信がなされていると感じる度合い。 | B | | | | |
| | 子どもの健やかな成長や教育環境の改善を図ることにふさわしいPTA活動が行われていると感じる度合い。 | B | | | | |
| 評価者の意見等 | <p>・自己評価の結果は、貴校の取り組み内容と照らして適切である。学校ホームページによる情報発信など、取り組みが多い。改善方策も適切である。</p> <p>・コロナ禍が収束しつつある今年、地域関係機関との交流が深まる事に期待しています。</p> <p>・PTA活動など活発に活動していると感じています。</p> <p>・コロナ禍においても、生徒が地域が必要とする課題に向き合い活動する事はコミュニティの希薄傾向にある現在社会においてはとても重要な取り組みと考えます。特に、現在社会における生徒感覚で、示されている改善方策に取り組んで頂きたい。</p> | | | | | |
| 学習指導 | 評価の観点で示される資質や能力等を評価するのにふさわしい評価方法としている度合い。 | B | <ul style="list-style-type: none"> ・教育課程の不断の改善 ・ICT機器の活用とわかる授業に向けた授業改善 ・学習者主体の授業の推進 ・授業規律の共通認識を形成 ・測定ツールを用いた学力定着度合いの測定と補習等の学力ケアの充実 | A | A | |
| | わかる授業に向けた授業の工夫・改善の取組がなされていると感じる度合い。 | B | | | | |
| | 学習評価が指導の目標及び内容と対応した形で評価方法を工夫がなされている度合い。 | B | | | | |
| | 基礎学力の向上や定着に向けて、補習や講習、資格取得の支援などの取組がなされている度合い。 | A | | | | |
| | 授業規律の確立にふさわしい取組がなされていると感じる度合い。 | B | | | | |
| 評価者の意見等 | <p>・自己評価は適切であり、教育で難しいところが貴校においても課題となっていることが分かる。</p> <p>・改善方策についても概ね適切であるが、「C」がついている項目についてより積極的な取り組みがあるとよいと考える。</p> <p>・ICT機器の活用に向けた授業改善は、適切だと思えます。これからは機械と人間が連携していく時代がそこまで来ていると思えます。</p> <p>・就職に役立つ学習を取り入れていると感じるが、企業は日々進化しているので、その対応に遅れないようになってほしい。</p> <p>・IT・情報化が進展しパソコン・スマホが身近な便利な現在社会における課題の一つとして、例えば、幼子が「グズル」と直ぐにスマホを与え静かにさせる事は便利かもしれませんが、親は幼子の思いを確認させず、幼子も自分の意思を親に伝えず真の会話を途絶える傾向にある現在社会においては、示された改善の方策と同時に生徒の意思が通える教育が、今後経験する様々なトラブル解決に向け孤立化しない方策と考えます。(人間本来が持つ五感が脳を刺激し、脳や体の活性化には必要であるが、現在は情報化の便利さと裏腹に、五感の活用が減少傾向にあるとの理論)</p> | | | | | |
| 生徒指導 | 保護者や関係機関との連携が生活指導の改善に向けて機能していると感じる度合い。 | B | <ul style="list-style-type: none"> ・全教職員による一貫した指導の推進 ・組織的計画的生徒指導の確立 ・生徒理解と教育相談の質の充実 ・いじめ対応の組織的な取組 ・子ども理解支援ツールの有効活用 ・家庭・地域、関係機関との連携の質的強化 | A | A | |
| | 学校いじめ防止基本方針に沿ったふさわしい生徒指導と感じる度合い。 | B | | | | |
| | 中途転退学者、原級留置者の削減の取組がふさわしいと感じる度合い。 | B | | | | |
| | 生徒指導が自立した人間に成長させる取組がなされていると感じる度合い。 | B | | | | |
| 評価者の意見等 | <p>・生徒指導について、自己評価が適切に出来ていると思えますが、保護者アンケートの間16では、職員アンケートと少しポイントが離れていたため、改善方策にある「連携の質的強化」がまさに重要と思えます。</p> <p>・いじめ対応として、家庭、地域、関係機関との連携と書かれていますが、どう言う機関を差しているか具体的に書いていただけると分かりやすいと思えます。</p> | | | | | |
| 進路指導 | 生徒や保護者、教職員への進路情報の提供は、足りていると感じる度合い。 | B | <ul style="list-style-type: none"> ・3年間を見通した計画的進路指導の推進 ・インターンシップの質の充実 ・切れ目のないキャリア教育の推進 ・進路実現のための支援の本質を追求 | A | A | |
| | 現在のインターンシップや職業講話などの取組が生徒の進路意識の高揚につながっていると感じる度合い。 | B | | | | |
| | 本校の教育活動は、生徒一人一人の勤労観・職業観の育成に役立っていると感じる度合い。 | B | | | | |
| 評価者の意見等 | <p>・進路指導について、自己評価、方策ともに適切と思えます。</p> <p>・案ですが、春に各学年生徒に、個々に年間の目標を立ててもらい、それをファイル化して、年2回面談して指導、アドバイスをしてあげる。</p> <p>・生徒にあった企業の情報を提供していると感じる。</p> | | | | | |

令和4年度 学校関係者評価

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 組織運営 | この学校の組織が効果的な教育活動を行うものとしてふさわしいと感じる度合い。 | B | <ul style="list-style-type: none"> ・校内組織の情報共有化 ・互いに話しやすい環境、互いに協力し合う職場環境づくりの推進 ・働き方改革のより一層の推進 ・部活動指導等、業務の見直し ・実践的な校内研修の充実 ・校外研修の推進と研修成果の還元 | A | A |
| | 教育活動全体の取組が生徒の成長に効果があるものになっていると感じる度合い。 | B | | | |
| | 学校事務職員が学校事務を総合的に捉え、教員との役割分担と連携に取り組んでいると感じる度合い。 | A | | | |
| | あなた自身が目の前の出来事の背景や相手の意図に関心を寄せる努力をしている度合い。 | A | | | |
| | あなた自身が他者と話し合ったり、一緒に考える努力をしている度合い。 | A | | | |
| あなた自身が服務義務を遵守している度合い。(出勤時間、公金の取扱い、ハラスメントなど) | A | | | | |
| 評価者の意見等 | ・働き方改革は必要であると思いますが、それによってかえって仕事量が増える分掌があると思いますので人員を削減しない様にして行ってもらいたいです。 | | | | |

3 学校関係者評価におけるご意見等

- ・全体的に教育活動に非常に適切に取り組まれていて、それが自己評価や方策の妥当さ、正しさに基づくものだけ分かりました。
- ・来年度に重点目標(4)として、内容はともかく1つ取り上げていただきたい思います。その主旨は、今後のICT機器による教育で女性技術者が増えると思いますので。(案)ですが(4)女性技術者の育成と環境づくり。

令和4年度 学校関係者評価

—

令和4年度 学校関係者評価

令和4年度 学校関係者評価

列1

A

C

D